

イベント開催のお知らせ

8/20
14:00
-16:00

障がい者支援事業所をはじめる講座



現役の障がい者支援事業所管理者が開設のノウハウや準備を解説していきます。

場 所 コムズ3階会議室2
(松山市三番町六丁目4-20)

◆申込フォーム◆



<https://forms.gle/L9Xu9fVecJATdxzC9>

10/9
14:00
-16:00

NPO会計基礎の「き」講座



簿記のなぜ？なに？や全体の流れ、各帳票の作成、仕訳等の基礎を解説します。

場 所 コムズ3階会議室2
(松山市三番町六丁目4-20)

◆申込フォーム◆



<https://forms.gle/7HXFrXKkbRCZNYbg7>

11/23
14:00
-16:00

NPOのはじめかた 講座



オンライン

自分らしさを発揮して、夢をかなえたいあなた。夢を実現する方法として、NPOに挑戦してみませんか？

対 象 NPOに興味のある方、
NPOの設立を検討している方等 20名



<https://forms.gle/TyNqLva61oW>

◆申込フォーム◆

準備物 配布資料(事前にお送りする資料データ)、
インターネットに接続したパソコン(ウェブカメラ、マイク付属)
・タブレット・スマートフォンなど

各イベントや講座の詳細は、まつやまNPOサポートセンターホームページに掲載しています。参加希望の方は、メール、FAX、申込フォームにて、お申込みください。参加費は無料です。オンライン開催の場合は、参加者のメールアドレスに前々日までに会場のID・パスワードをご案内いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
講座の開催日時や内容等変更する場合があります。

サポセンだよりに関するお問い合わせは、まつやまNPOサポートセンターまで。

まつやまNPOサポートセンター

〒790-0003 松山市三番町6丁目4-20 コムズ内

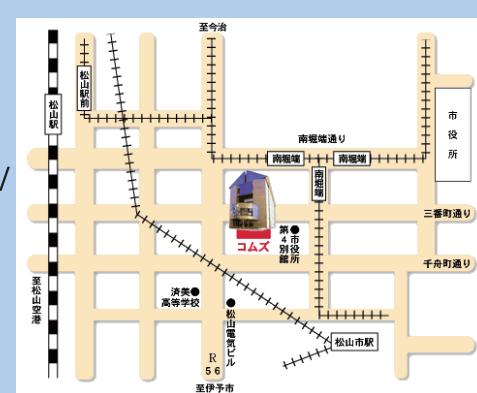
Tel 089-943-5790 Fax 089-943-5796

Email pico@npo.coms.or.jp HP <http://www.npo.coms.or.jp/>

Blog <http://blog.canpan.info/saposen/>

受付時間 平日 9:00~18:00 日祝 9:00~17:30

休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日) 年末年始(12月29日~1月3日)



まつやまNPOサポートセンター 情報誌
matsuyama npo magazine

サポセンだより

2P 特集

知っていますか。みんなの居場所
コミュニティカフェの開設
・運営のポイント教えます!

2022

夏号



4P NPOと協働したい企業を募集します

5P 松山市NPO登録制度とは

6P 令和4年度松山市市民活動推進補助金の採択団体が決定しました

7P 令和4年度松山市市民活動推進補助金
採択団体活動報告&令和3年度 成果報告会

8P イベント開催のお知らせ



表紙写真提供 くぼの里山会 松山くぼの町ホタル祭りの様子

特集

知っていますか。みんなの居場所 コミュニティカフェの開設 ・運営のポイントを教えます！

みなさんは、「コミュニティカフェ」をご存知ですか？

近年、都会の人口集中や地方の過疎化、一人世帯の増加などの影響で、昔ながらの地域コミュニティのつながりが減ってきています。

そこで、つながりを作りながら、高齢者や障がい者、子育ての支援、まちづくりなどの課題に取り組む場として「コミュニティカフェ」のニーズが高まっています。

最近では、子ども食堂、認知症カフェなどのコミュニティカフェが増えており、コミュニティビジネス（地域資源や人材を活かして地域課題をビジネスの手法で解決すること）の一つの方法としても注目されています。

今回の特集では、コミュニティカフェの分野や開設の流れ、運営のポイントを解説していくたいと思います。

開設の流れ

01

自分の思い を書きだす

自分の強い思い、動機が開設や運営の大変さを乗り越えるために大切になるので、書き出します。

Point

- 1 開設したい強い思い（動機）
⇒ビジョン、ミッション
- 2 誰に来てもらいたいか
⇒ターゲット
- 3 どういう事業をするか
⇒アクション

02

事業計画・予算 を決める

事業内容を具体的に決め（事業計画）、どれくらいお金（予算）が必要か、以下を意識しながら決めます。

Point

- 1 設置方法
⇒常設、イベント
- 2 場所
⇒自宅、店舗、公共施設、オンライン
- 3 スタッフ
⇒従業員、ボランティア（有償・無償）
- 4 事業内容
⇒飲食提供、貸スペース、販売、相談

03

場所・人・資金を確保する

事業計画や予算をもとに、開設に必要な場所、運営スタッフ（人）、資金の確保やその準備をします。

Point

	種類	説明	必要なものの例
場所	自宅	自宅をリフォームして使う	営業許可申請等
	賃貸店舗	店舗を借りる	許可申請や月々の利用料
	公共施設	公共施設などを借りる	貸出の申請
	オンライン	Zoomなどオンラインツールを借りる	安定したインターネット環境
人	従業員	雇用契約をして労働する人	月々の給与
	ボランティア（有償・無償）	自発的に活動に関わる人	モチベーション維持やケア
資金	自己資金	自分の資産から支払う	家族の理解
	融資	公庫や銀行等からお金を借りる	借りる時の担保や月々の返済
	クラウドファンディング	個人から少額の寄附を集める	返礼品や経過報告
	補助金	自治体などの助成制度を利用する	補助金を受け取るまでの運営資金
	会費・寄付	利用者から会費や寄附を集める	活動への理解

04

こまかに運営 スタイルを決める

ある程度、場所・人・資金が確保できたら、カフェの運営方法を決めます。カフェは自分自身のやりたいことを実現する場ですが、ターゲットにとっても魅力的で居心地の良い場所にする必要があります。

Point

- 1 担当決め（広報、経理、イベント等）
- 2 営業日、時間、オープンする日
- 3 運営スタッフのシフト
- 4 イスや机等備品の設置
- 5 飲食メニュー、提供サービスの内容

05

カフェを 知ってもらう

オープンの準備ができたら、カフェを知ってもらうために以下の宣伝をします。

Point

- 1 チラシ、ポスター
- 2 ホームページ、ブログ、Instagram
- 3 口コミ、知人の紹介
- 4 イベント開催
- 5 今まで関わった人たちに声をかける

カフェオープン！

初日は特にドキドキと嬉しさがあります。喜んでもらえたこと、失敗したことを今後の運営に活かすことが大切です。3

次のページに続く

運営のポイント

+++++ +++++ +++++

○ 体調管理をして、無理をしないこと

運営を続けるためには、気力や体力が必要になります。あなたのカフェに来ることを楽しみにされている方のためにも自分の体調を管理し、無理をせず、やり続けることを大切にしてください。

○ 協力してもらうこと

一人でできることは限られています。スタッフはもちろん、カフェの利用者の方にも声をかけて運営に協力してもらいましょう。それが、利用者自身のやりがいにつながることもあります。

○ 意見を聞き、改善していくこと

カフェに関わる人や状況は、少しずつ変化していきます。カフェの運営について多くの意見を聞き、様々な視点からカフェの運営方法を改善していくことが必要です。

まとめ

コミュニティカフェはつながりを作り、地域や社会の課題に取り組む場であると同時に、自己実現の場でもあります。
ぜひ楽しんでカフェの開設・運営をしていきましょう。

00 募集

NPOと協働したい企業を募集します

「NPOという新たな価値を知り、企業の未来に利益を創造する」

NPOは、地域課題や社会課題の解決に取り組む専門家であり、自らの気づきと責任で先駆的・開拓的に働く活動家でもあります。まつやまNPOサポートセンターでは、そのNPOの特性を活かし、CSRやCSV、SDGsに取り組む企業との協働のコーディネートを行っております。

ご興味のある企業は、まつやまNPOサポートセンターにご相談ください。

[NPOと協働するメリット]

① 多様化する消費者・顧客ニーズを知ることによる競争力強化

NPOが得意とする分野の細やかな顧客のニーズを知ることで、よりそのニーズにあった製品やサービスが提供できるようになります。

② 社員の育成や意識改革の促進

NPOの専門性や自発的に課題解決に取り組む姿勢は、社員の顧客ニーズを見つける能力や課題解決能力の向上につながります。

③ 地域貢献・社会貢献を通じた地域や顧客との関係性の強化

地域にある課題の解決に貢献することで、既存顧客との関係性を強くし、新規顧客との新しい関係を結ぶきっかけとなります。

※協働とは

立場の異なる者同士が共通の問題解決を目的に、対等な関係で協力し合うこと。



01 特集

松山市NPO登録制度とは

平成17年に松山市が市民活動やNPO活動を支援するために設置した制度です。

point
01

どんな団体が登録できるのか

- ① 3人以上で組織されている団体であること。
- ② 市民活動を行う主たる区域が松山市内であること。
- ③ 事業費の総額に対し市民活動に係る事業費の占める割合が2分の1以上であること。
- ④ 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれのある活動をしていないこと。



point
02

登録することのメリット

① 松山市市民活動推進補助金の応募資格

『松山市市民活動推進基金』をもとにNPO団体が実施する事業に補助金を出しています。

【補助金内容】

- | | |
|----------------|------------------------|
| ○ 立ち上がり支援 | 事業費の2/3、上限40万円 |
| ○ 成熟促進支援 | 事業費の1/2、上限30万円 |
| ○ 市民協働まちづくりモデル | 事業費の1/2、上限200万円 |
| ○ 次世代育成支援 | 事業費の全額、区分により上限5万円～15万円 |

② コムズ会議室の無料貸出

会議室1-2(面積34平方メートル、定員18名)を月5回まで無料で利用できます。

③ まつやま市民活動配達便の利用資格

NPOが主催または共催にて発行するイベントチラシ等をまつやまNPOサポートセンターが取りまとめ、市役所の庁内メール便を活用して、市の管理する施設に配布し、情報提供する仕組みを利用できます。

point
03

登録に必要な書類等

① 必要書類

- ① 松山市NPO登録申請書(様式第1号)
- ② 松山市NPO登録簿(様式第2号)
- ③ 公開情報確認表
- ④ 確認書(様式第3号)
- ⑤ 定款、会則、規約など
- ⑥ 役員名簿
- ⑦ 年間事業計画書
- ⑧ 年間収支予算書
- ⑨ 前事業年度の事業報告書
- ⑩ 前事業年度の収支決算書

詳細は、以下の市の
ホームページをご覧ください。



② 書類提出先

松山市坂の上の雲まちづくり部 まちづくり推進課 または、まつやまNPOサポートセンター

02 報告 令和4年度松山市市民活動推進補助金の採択団体が決定しました!

松山市では、市民活動を推進するため、「松山市市民活動推進条例」に基づいて「松山市市民活動推進基金」を設置し、市民の皆様から寄せられた寄付金と同額の市費を合わせ、NPO団体の活動に対する助成を行っています。令和4年度に採択された各団体の事業を紹介します。各団体の活動にご注目ください。

▼ 立ち上がり支援

	団体名	事業名
1	くぼの里山会	暮らしたくなる里山づくりを目指して!
2	NPOなないろ	人と人をつなぎ生きがいの場をつくる事業
3	愛媛デジ女プロジェクト	女性の経済的自立を促す自分らしい働き方を促進するセミナー開催
4	松山学生演劇コミュニティ	松山発!学生起点の演劇ワークショップ
5	NPO愛媛室内合奏団	市民でつくる松山の第九2022
6	志国イムズプロジェクト	お遍路文化を活かした観光振興と経済の両立事業
7	OICOLLA亭	元気の種をまきましょう!
8	NPO法人さんぶれいす	みんなの音楽会
9	特定非営利活動法人ハッピーハート	『はっぴーしょくいく はーと食堂』 ～コロナ禍において子育て中の家族の食事の心配事を減らすために～
10	地質・環境技術研究所	地質技術者のお仕事体験バスツアー(高校生対象)および地質技術者によるオンラインセミナー(市民向け)の実施

▼ 成熟促進支援

1	特定非営利活動法人アイムえひめ	トークショー「北極に挑み続けた勇者～和田重次郎と河野兵市～」
---	-----------------	--------------------------------

▼ 市民協働まちづくりモデル

1	舞台芸術俱楽部『ごそく楼』	「坊っちゃん文学賞」受賞作品よみ芝居公演事業
---	---------------	------------------------

▼ 次世代育成支援

1	小学生 まごこりいっぱい、はとのすキッズ	~集まれ 味生っ子・味生Ⅱっ子～ はとのすキッズのイベントで友だちづくり
2	中学生 小野中学校生徒会2022	「拝啓松山」～松山の中学生の思いを標語に～
3	中学生 Bridge of friendship	つなごう!友情の架け橋!
4	高校生 松山学院高等学校生徒会	～もしものときに備えよう!～ 防災意識向上を目指して
5	大学生 まるっとさんかく	まるっとさんかくプロジェクト
6	大学生 たけ プロジェクト	たけ アクション プロジェクト
7	大学生 ポテッタ	野菜作りを通してサステナブルな社会を考えよう!

03 報告 令和4年度松山市市民活動推進補助金採択団体活動報告&令和3年度成果報告会

✓ 令和4年度松山市市民活動推進補助金採択団体の活動報告

5/7 松山学生演劇コミュニティ



シアターねこ(緑町一丁目)で「ファーストステップワークショップ」を開催。四国学院大学の仙石准教授を講師に招き約20名の参加者が即興演劇を体験。他者の動きに反応して、自分がどう演技をするのか、そして他者がどう感じるのかを学びました。

6/5 くぼの里山会



正八幡神社(窪野町)で「松山くぼの町ホタル祭り」を開催。20年続いた「奥久谷ほたる祭り」の思いを引き継いで新たに企画されたものです。あいにくの天気でしたが、のべ500名の来場者があり、太鼓、獅子舞、音楽イベントなどを楽しんでいました。

6/15 愛媛デジ女プロジェクト



プログレッソイベントルーム(湊町四丁目)で「デジタルスキルを身に付けて叶う!新しい働き方」セミナーを開催。約20名の参加者が、合同会社EISの西村代表からデジタルスキルの重要性を学びました。初心者にもわかる解説が好評でした。

6/22 NPO法人さんぶれいす



ハピネス椿(今在家三丁目)で「みんなの音楽会」を開催。施設の利用者など約40名が、屋外で生演奏を楽しみました。昭和歌謡の演奏や音のリズムに合わせて鈴を鳴らすなど音楽セラピーの要素を取り入れたプログラムも行われました。

✓ 令和3年度松山市市民活動推進補助金成果報告会を行いました



5月28日にコムズ(三番町六丁目)において「令和3年度松山市市民活動推進補助金成果報告会」があり、事業を実施した20団体がそれぞれの活動の成果を発表しました。

大学生の団体「マドンナbloom♡」は、ワークショップで作ったシトラスリボンを大学やコムズに展示して、自分達の想いを多くの人に知らう事ができたと報告しました。

特定非営利活動法人ハッピーハートは、子ども食堂を32回実施し、のべ1500人の親子の利用があったことや利用者アンケートの結果を報告しました。

実際に集まることで、団体同士の会話が弾み、交流をすることことができました。